



2026年3月期(2025年度)第2四半期 決算説明会資料

2025年11月4日

住友バークライト株式会社

代表取締役社長 鍛冶屋 伸一



2026年3月期(2025年度)第2四半期 決算概要

2026年3月期第2四半期 連結業績（前年との比較）

（金額単位：億円）

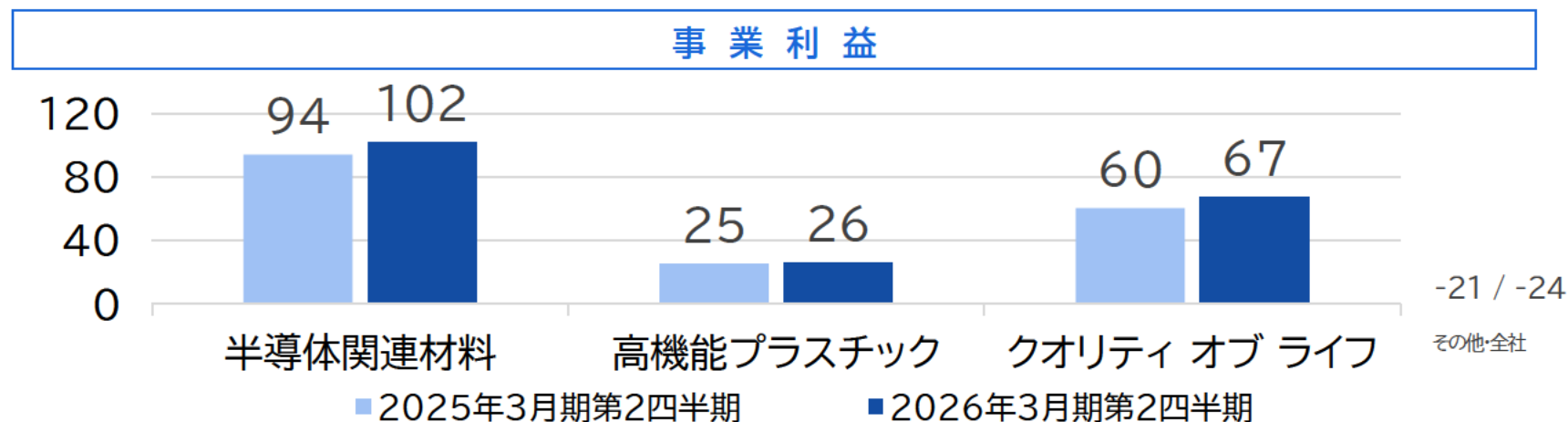
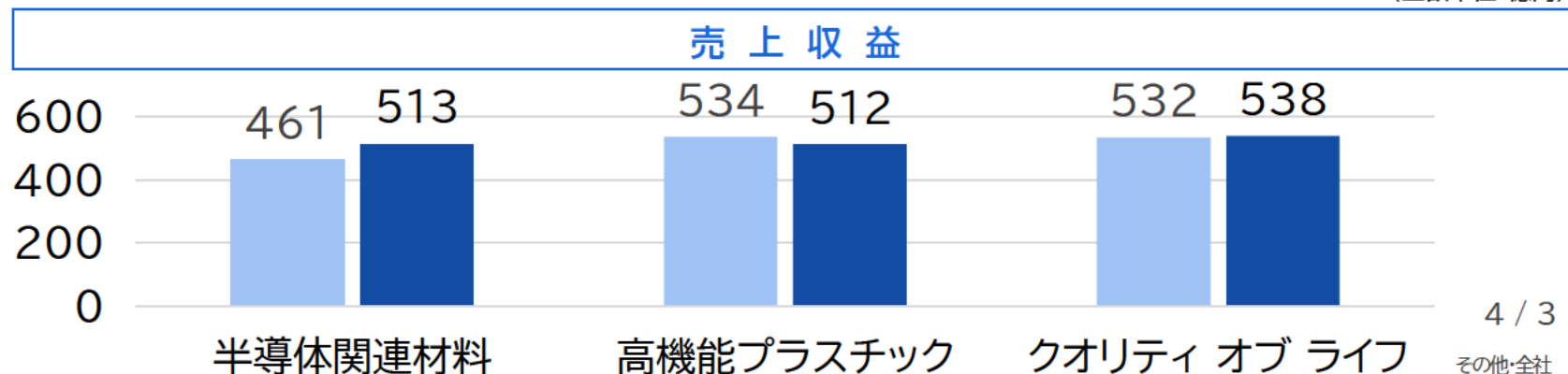
	2025年3月期 第2四半期 実績①	2026年3月期 第2四半期 実績②	前年同期比較	
			金額(②-①)	増減率
売上収益	1,531	1,565	34	2.2%
事業利益	158	171	13	8.2%
営業利益	157	165	8	5.1%
当期利益	127	133	6	4.3%

※「事業利益」は「売上収益」から「売上原価」、「販管費及び一般管理費」を控除したベース
「当期利益」は親会社所有者に帰属する中間利益

為替レート	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期
USD(\$/¥)	152.30	146.57
EUR(€/¥)	165.46	167.74

事業セグメント別業績比較(前年との比較)

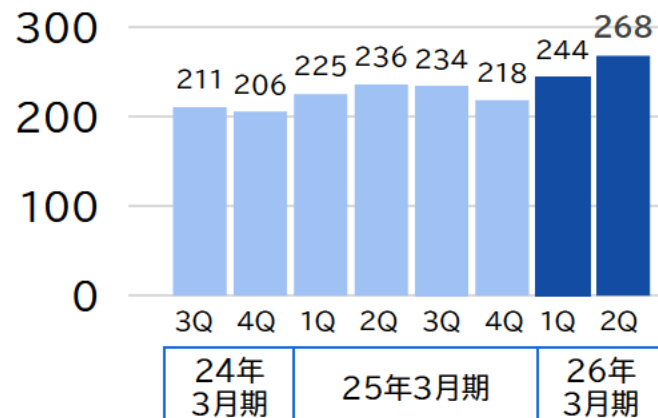
(金額単位:億円)



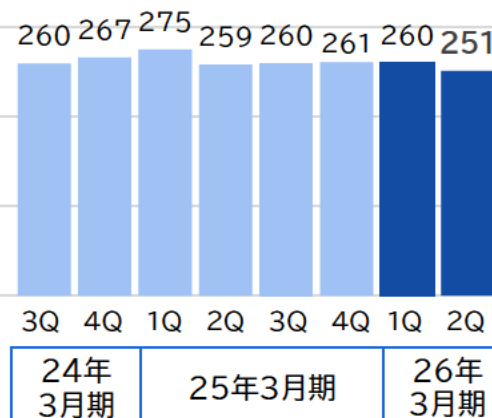
事業セグメント別 四半期販売推移

(金額単位:億円)

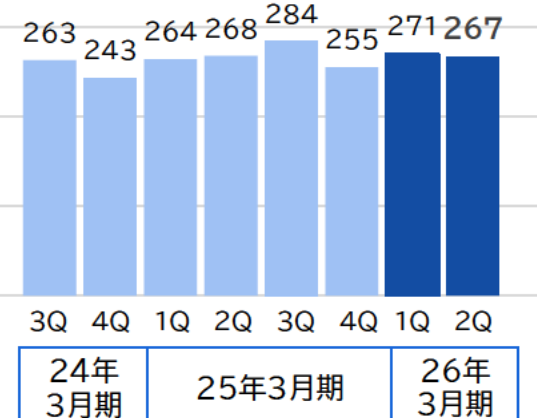
半導体関連材料



高機能プラスチック



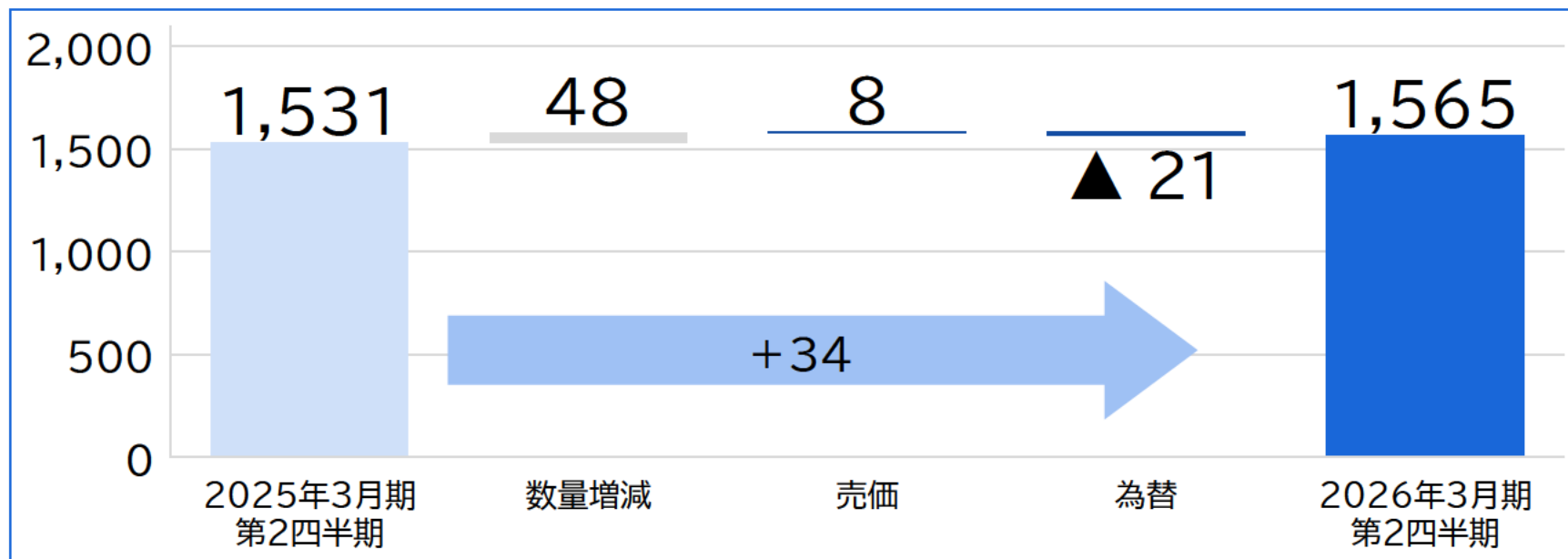
クオリティ オブ ライフ



- 半導体関連材料 : 中国市場の更なる伸長に加え、AI向けパワー半導体、エッジAI用先端材の拡大により封止材の四半期出荷量は1Qに引き続き過去最高を更新
- 高機能プラスチック : 自動車機構部品低調。COPLUSはAI半導体用途で立ち上がり順調
- クオリティ オブ ライフ: ジェネリック向け医薬品包装など全体的に堅調続く

売上収益増減要因(前年との比較)

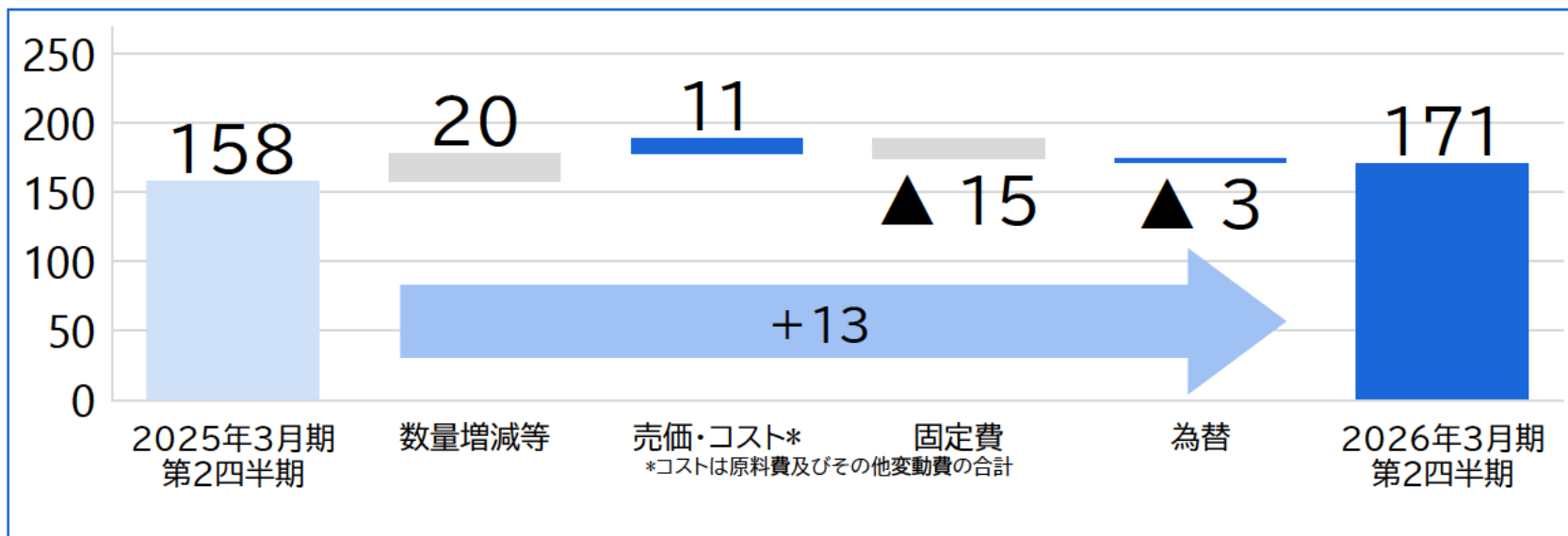
(金額単位:億円)



セグメント別	数量増減	売価	為替	合計
半導体関連材料	57	6	▲11	51
高機能プラスチック	▲10	▲5	▲8	▲22
クオリティ オブ ライフ	1	7	▲2	6

事業利益増減要因(前年との比較)

(金額単位: 億円)



セグメント別	数量増減等	売価・コスト*	固定費	為替	合計
半導体関連材料	19	▲3	▲6	▲3	8
高機能プラスチック	2	10	▲11	▲0	0
クオリティ オブ ライフ	▲1	3	4	▲0	7
その他	▲0	0	▲2	0	▲2



2026年3月期(2025年度) 通期業績予想

※2025年5月12日発表と変更ありません

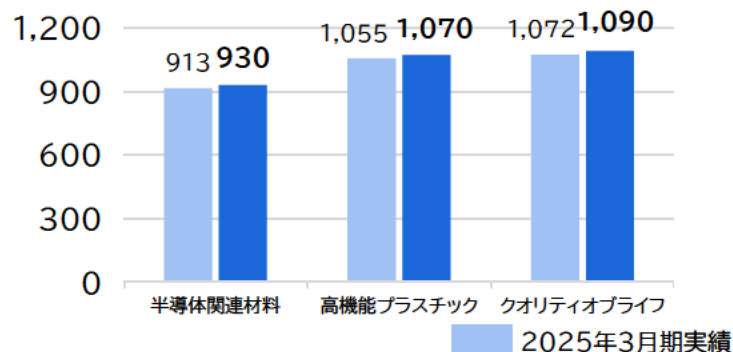
2026年3月期 通期 連結業績予想

(金額単位:億円)

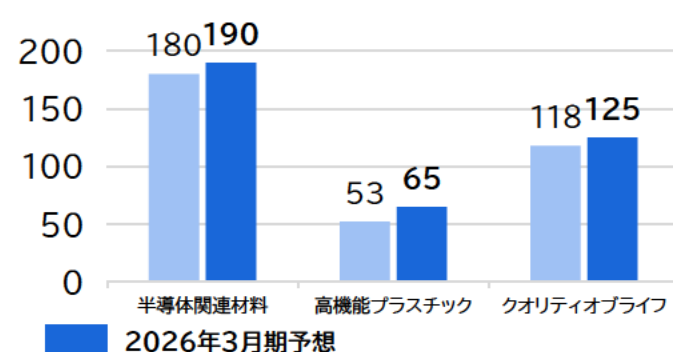
	2025年3月期 実績①	2026年3月期 予想②	前期実績比較	
			金額(②-①)	増減率
売上収益	3,048	3,100	52	1.7%
事業利益	308	325	17	5.4%
営業利益	248	310	62	25.0%
当期利益	193	235	42	21.9%

※「事業利益」は「売上収益」から「売上原価」、「販管費及び一般管理費」を控除したベース。「当期利益」は親会社所有者に帰属する当期利益

セグメント別売上収益



セグメント別事業利益

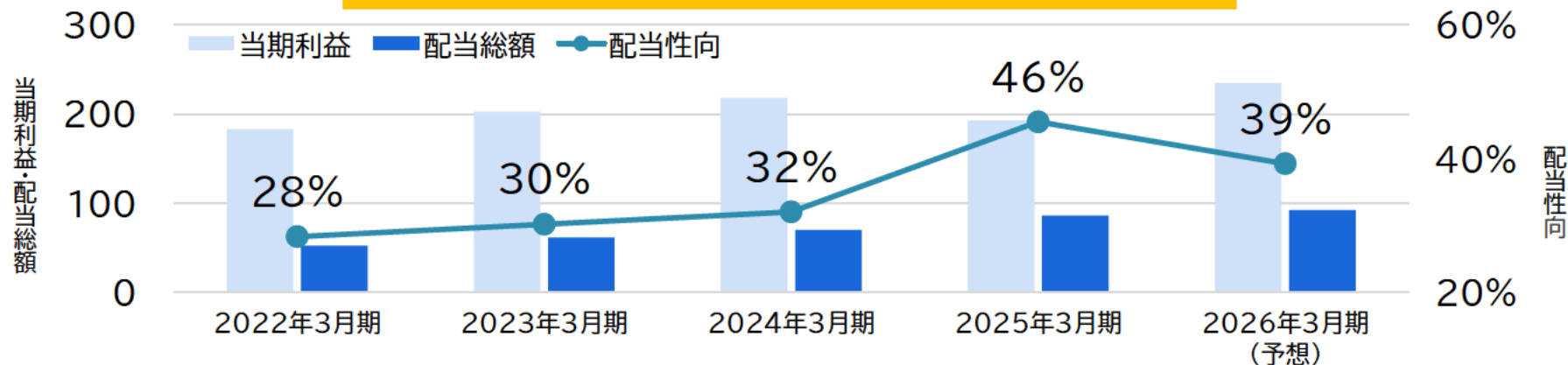


株主還元

■ 年間配当予想: 105円/株 (中間50円・期末55円)

(金額単位: 億円)

1株当たり配当予想は前年度から10円増配



安定的かつ継続的に利益を還元する

配当金 (円/株) ^{※1}	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (予想)
中間配当	25.00	30.00	35.00	45.00	50.00
期末配当	30.00	35.00	40.00	50.00 ^{※2}	55.00
年間配当	55.00	65.00	75.00	95.00	105.00

※1: 2024年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。上記の配当金(円/株)は、2022年3月期の期初に当該株式分割が行われたと仮定し、算出しております。

※2: 創立70周年(2025年3月1日)記念配当5円を含む。



各セグメントの 上期総括/下期の見通し、取組み

半導体関連材料【上期の総括/下期の見通し、取組み】

単位:億円

	事業利益	売上収益
上期実績	102	513
進捗率	54%	55%
通期予想	190	930

上期の総括

- 中国市場が内需拡大により想定以上に伸長
- AI向けパワー半導体、エッジAI用先端材が拡大
- モビリティ戦略製品はEV化進展により当社材の採用が拡大
- パワーデバイス用途はトータルソリューションで顧客に展開
高放熱封止材、TIM* (セミンタリングペースト)、バッファークート材、LαZ

*Thermal Interface Material の略

下期の見通し、取組み

- AI関連パワーデバイス市場拡大、熱マネジメント対応製品拡販
- 中国市場は継続して伸長、新工場の量産フル稼働へ
- 台湾市場回復、新工場の認定取得を進め、量産開始
- モビリティ戦略製品は中国で拡販、日本は回復基調

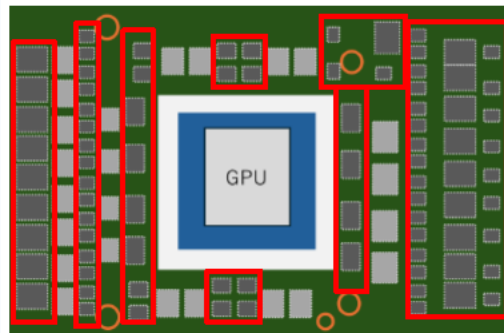


蘇州住友電木 新工場

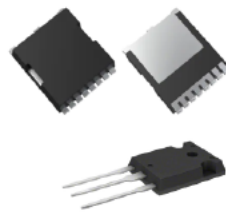
半導体関連材料【トピックス】

AI関連パワーデバイス市場拡大

熱マネジメントに対応した製品拡販



GPUボード(イメージ)



搭載されるパワー半導体
(イメージ)

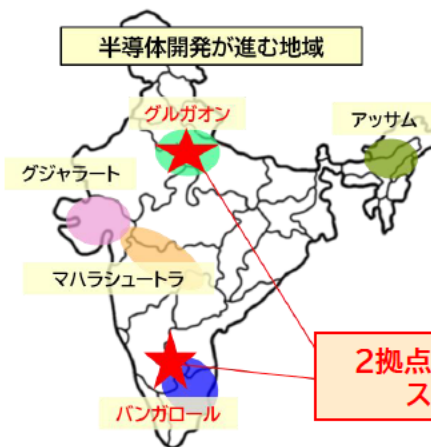
GPU周辺の黒い部品(赤枠)がパワー半導体
1台のGPUボードに多数のパワーデバイスを使用

AIサーバー内のGPUボードや電源ユニットで、
パワーデバイス向けの高熱伝導材へ需要が急増
封止材、ボンディングペースト、 $L\alpha Z$ で高熱伝導化対応

インド市場開発に着手

半導体国産化の動きが加速、

主要半導体メーカーで当社封止材の評価開始



SEMICON India 2025に出展

世界シェアNo.1への信頼が新規ビジネスへ
現地マーケティング+シンガポール・日本からの支援強化

高機能プラスチック【上期の総括/下期の見通し、取組み】

単位:億円

	事業利益	売上収益
上期実績	26	512
進捗率	40%	48%
通期予想	65	1,070

上期の総括

- 北米は厳しい構造改革を進行中、アジアは好調に推移
- 航空機部品は販売増も品種構成悪化
- COPLUS、AQNOA、欧州向け航空機部品など高付加価値品が拡大
- 放熱絶縁シートはパワーモジュール用で採用、次世代品の評価進む

下期の見通し、取組み

- グローバルで収益性改善策の推進
ロボティクス、IoTによる生産性向上、生産拠点の合理化、不採算製品の整理
- 航空機部品は採算是正を進める。欧州向け新製品の量産本格化
- 強化領域の販売強化
パワーモジュール用材料、EVバッテリー用材料、COPLUS、AQNOAなど



Fraunhofer
ICT

EVバッテリー用耐火材

高機能プラスチック【収益力強化の取組み】

不採算製品の是正、生産コスト削減・生産性向上 等による収益力強化を図る

項目	地域	実施内容
不採算製品是正、撤退	北米	汎用フェノール樹脂を中心に実行
生産拠点最適化	日本	グループ会社(成形材料)を静岡工場に生産統合
	アジア	アジア地域で成形材料の最適な生産体制を構築
生産ライン統合	欧州	ベルギー工場(成形材料)生産ライン最適化

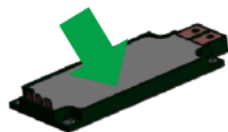


最新鋭 中国南通工場の自動化設備

高性能プラスチック【トピックス】

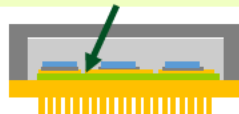
電動車向け:パワーモジュール用材料

液状エポキシ注型材



高耐熱・長寿命

放熱絶縁シート材料



セラミックス基板代替
→モジュール構造の設計
自由度UP

航空機部品

欧州向けカーゴライナー
量産スタート



バイオ由来のPFALレジン
を開発中



半導体向け:COPLUS®



当社独自のモノマー技術を
生かした高耐熱かつ透明な樹脂
分子設計自由度が高く、
さまざまな機能をプラス(+)

AI半導体、ディスプレイ用途などで実績化。
多用途で引き合いあり、ビジネス拡大中

環境対応:AQNOA™



世界初！

フェノール樹脂の基本機能

熱硬化性

耐熱性

耐水性

難燃性



超低モノマー水溶性の特徴

水溶性

非劇物

フェノール
ホルムアルデヒド
<0.1%

環境負荷低減により、フェノール樹脂の適用可能性が拡大

クオリティオブライフ関連製品【上期の総括/下期の見通し、取組み】

単位:億円

	事業利益	売上収益
上期実績	67	538
進捗率	54%	49%
通期予想	125	1,090



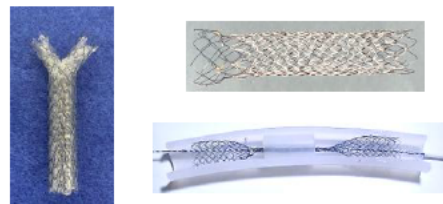
医薬品包装フィルム(PTP)

上期の総括

- 【ヘルスケア】 血管内治療デバイス、血液バッグが想定通り伸長
- 【フィルム・シート】 ジェネリック医薬品向け包装材の需要旺盛
- 【産業機能性材料】 車載HUD用光学シートの高付加価値品が増加
- 【防水関連】 大手ハウスメーカー向けのリフォーム需要が拡大

下期の見通し、取組み

- 【ヘルスケア】 低侵襲治療機器のラインナップ拡充、販売強化
- 【フィルム・シート】 ジェネリック好調継続、ダイシング・フィルム販売拡大
- 【産業機能性材料】 AGC(株)から事業譲受、シナジー発現で収益力強化
- 【防水関連】 ソーラーアンカーを拡充、施工の効率化推進



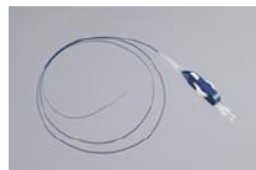
消化管ステントのラインナップ拡充

クオリティオブライフ関連製品【トピックス】

ヘルスケア

- ・血管内治療デバイス、採血キット、血液バッグ

高品質が海外市場で受け入れられ、販売拡大



ステアリングマイクロカテーテル



採血キット



血液バッグ

フィルム・シート

- ・ダイシング・フィルムを強みを生かして

先端半導体でさらに拡販

帯電防止技術と低汚染性能で
ロジック半導体、CIS向け
シェア拡大を目指す



ダイシング・フィルム

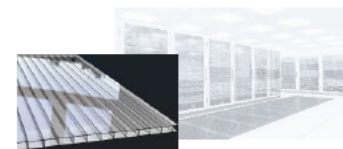
産業機能性材料

- ・AGC(株)から事業譲受し、
ポートフォリオ変革加速

車載HUD向け光学シート、
データセンター向け「ツイン
カーボ®」などでシェア拡大



車載ヘッドアップ(HUD)向け光学シート



中空ポリカーボネート「ツインカーボ®」

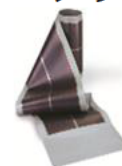
防水関連

- ・シート防水一体型アンカー部材
- ・ソーラー発電素子一体型防水シート



ソーラーアンカー

フラット屋根を利用した創エネに
ソーラー関連防水システムの販売を拡大



ソーラー発電素子一体型防水シート



SUMITOMO BAKELITE CO., LTD.

<https://www.sumibe.co.jp/>

■ 免責事項について

当社は、本資料の情報がお客様にとって有用なものとなるよう努めておりますが、特定の用途における正確性や妥当性を保証するものではありません。ご利用にあたっては、関連する用途との適合性や安全性を別途ご検証ください。また、本資料に含まれるいかなる事項も、知的財産権等に関する助言や許可を与えるものではありません。

■ 著作権について

本資料の著作権は、特に断りのない限り、当社またその関連会社に帰属します。当社の許可なく、本資料を無断で複製または転用等を行うことを禁止しております。

■ 会社名の表記方法について

本資料における会社名の表記にあたっては、「株式会社」等の表記を省略している場合があります。